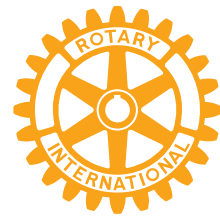


2015-2016 ガバナー月信

GOVERNOR'S Monthly Letter 4

Rotary
District 2510



国際ロータリー第2510地区 2015-2016年度ガバナー 嵯峨義輝

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512
e-mail: rid2510@nifty.com http://rid2510.org



2015-2016年度 国際ロータリーのテーマ

「世界へのプレゼントになろう」

Be a gift to the world



国際ロータリー第2510地区 2015-2016年度 地区目標

1. 会員増強と維持率向上の推進

会員数5%純増

2. オンラインツールの利活用の推進

「ロータリークラブ・セントラル」「My Rotary」への登録、利活用推進
ウェブサイトやSNSを活用した公共イメージの向上

3. 人道的奉仕活動の継続と推進

ポリオ撲滅、復興支援、国際奉仕活動の継続と推進

4. ロータリー財団への理解と協力支援の継続

ロータリー財団に関する情報発信
直接的・間接的寄付の継続

第2510地区
重点課題

1. クラブ戦略計画への支援

2. 新会員のフォロー支援

3. クラブサポートの強化

Contents

●ガバナーメッセージ	1
●ガバナー補佐研修セミナー・地区チーム研修セミナー報告	2
●会長エレクト研修セミナー・ロータリー財団・米山セミナー報告	3
●ロータリーコーディネーターニュース	4
●ロータリー、来し方行く末	5
●米山奨学生のご紹介	6
●米山記念奨学生歓送会開催	7
●台日友情交換報告	8
●全国ローターアクト研修会並びにアジア太平洋地域ローターアクト会議報告	10
●広報委員会よりお知らせ	12
●ポリオプラス委員会より/文庫通信	13
●第11グループ紹介/新会員のご紹介/訃報	14
●米山寄付・ロータリー財団寄付/地区カレンダー	15
●出席率・会員数	16



一年前を思い起こして

国際ロータリー第2510地区

2015-2016年度ガバナー **嵯峨 義輝** (岩見沢RC)

すっかり春めいてきた今日この頃ですが皆様にはご健勝でご活躍の事と思います。4月は出会いと新しいスタートの季節。入学・進学・就職・移動など皆様の周りでもいろいろな出来事があると思います。ロータリー年度とは別にインターアクトやローターアクト、米山奨学生などでは新体制がスタートする時期でもあります。会員の中でも転勤等によってクラブを去られる方もいる事と思います。後任の方の入会は勿論ですが出て行かれた方も新任地で是非ロータリーに関わって頂きたいものだと思います。

さて3月26日、待ちに待った北海道新幹線が開業しました。第10・11グループの皆様には特に身近な大イベントでありこれからの地域の活性化、成長の核となる大きな出来事だと思います。大手地方新聞も大特集を組みこの開業の祝賀ムードを盛り上げようと必死でありました。しかしながら地元以外ではやはり今一つ開業効果に実感がないという事で盛り上がり欠けていたのは否めないところでしょう。札幌延伸が北海道の活性化には待ち望まれるところですが、まずは函館を中心に好影響を期待したいものです。私は昨年地区目標を策定するに当たり、地域経済の活性化・元気な企業の育成にロータリーとして取り組めないかと考えていました。地区としてそれを掲げるのはどうか、となりましたが、地域の職業人であるロータリアンとしては地域の安定、成長に直接、間接を問わず関わり続ける立場にいます。この北海道新幹線の開業を機にそれぞれの地域で出来る事はないか探してみる事も必要と思います。

今年度の私達の活動もゴールが近づき、まとめの段階になってきました。インターシティーミーティングも全グループで企画して頂き、すでに5か所7

グループで終了しています。それぞれ工夫を凝らしグループの特色を出したIMを開催され研鑽をつみ親睦を図りグループ内の結束を強めて頂いています。とあるIMではクラブ発表の場で「My ROTARYに登録すれって言うけど何かいいことあるの?」「まあマイナンバーみたいなものだから」とのトークがあり思わず立場を忘れて笑いこけてしまいました。もちろん意義はありますので宜しくお願いします。あと残り5グループのIMも楽しみに期待しています。今後の地区の動きとしては国際ロータリー第3490地区、台湾とのロータリー友情交換事業の一環として4月23日の地区大会に参加してまいります。またRYLA委員会の企画運営で5月14～15日に岩見沢において「2015-16RYLAセミナー」を開催いたします。ロータリー青少年指導者養成プログラムは14～30歳の若者を対象にスキルと人格を養いながら奉仕、他かい道徳的規準、平和といったロータリーの価値観を学ぶ機会を提供し、参加した地域社会の若者達がリーダーや良き市民としての資質を養い人間として成長するのを助ける事を目的としています。さらにこの事業を通してロータリーに対する理解者を増やすとともにインターアクト、ローターアクトのリーダーシップ能力を高める事にもなります。今回は17～30歳の男女を対象としています。今までロータリーとの接点のなかった若者を含め、様々な方面で将来のリーダーとして期待される方々の参加をお待ちしています。またロータリアンの皆様にも、地域の未来のリーダーに投資する観点からご協力をお願いします。

今年度もあと3か月を切りました。今一度PETS、地区研修・協議会を終えて活動計画を練っていた一年前を振り返り、着地点への道のりを確認し、そして行動しましょう。「世界へのプレゼントになろう」

ガバナー補佐研修セミナー 地区チーム研修セミナー報告

次期地区代表幹事

橋本 耕二（札幌南RC）

平成28年2月20日（土）、標記のセミナーが札幌パークホテルで開催されました。

午前中はガバナー補佐研修セミナーが開かれ、次年度のガバナー補佐として地区内ロータリークラブを指導監督していただく12名の補佐の皆さんと嵯峨ガバナー、武部ガバナーエレクトさらには塚原次期研修リーダー（PG）、次期研修委員の渡邊恭久・熊澤隆樹両パストガバナーにそれぞれご挨拶をいただきました。



新任のガバナー補佐の皆様におかれましては、最初の事業でもあり多少緊張の面持ちで参加をされておられました。嵯峨ガバナーからは「地区の運営がうまくいくかどうかはガバナー補佐の皆様の手腕にかかっている」との激励のご挨拶をいただきました。

塚原次期研修リーダーからは「ガバナー補佐の皆さんに」と題して具体的な事例をあげてのお話をいただき、渡邊・熊澤両次期研修委員からはそれぞれ「ガバナー補佐の責務について」と「ガバナー補佐の会員増強委員としての役割」と題してお話をいただきました。

各研修担当役員のお話のあと意見交換が行われ、4クラブを抱える補佐や8クラブを抱える補佐等、規模には差があるようですが抱えている悩みは皆が同じ課題でありました。いかに会員を増やすか？いかに地域に認知してもらうか？これからじっくりと、腰を落ち着けて対応していくしかありません。補佐の皆様のご意見に耳を傾け、地区としてできるだけ汗をかいていくつもりであります。

午後からは次年度地区委員長さんにお集まりいただき、地区チーム研修セミナーが開かれました。次年度は地区組織を若干変更したこともあり、各委員長には戸惑いもあったようですが「地区はあくまでも各ロータリークラブのお世話役」であることを認識し、行動を起こしていくことを認識していただきました。

17時30分からは懇親会が開催され、和気あいあいのもとに、次年度のそれぞれのスタートを祝い、大きな声で「手に手つないで」を全員で合唱しておひらきとなりました。



会長エレクト研修セミナー ロータリー財団・米山セミナー報告

次期地区代表幹事

橋本 耕 二 (札幌南RC)



去る3月5日・6日の両日にわたり標記セミナーがホテルオークラ札幌で開催されました。

初日の5日には会長エレクトがガバナーをはじめパストガバナーの皆さんからのお話に、熱心に耳を傾け、次年度の構想を練っておられた模様であります。

嗟峨ガバナーの歓迎の挨拶では「皆さん、今まではロータリークラブのことは良く分からないで会長を引き受けたのです。で通りましたが、今日これからは、その言葉は通用しません。なぜならば、今日ここで、次年度会長としての気構えを、じっくりと学ぶことになるわけでありますから。」とご挨拶されました。私ごととしてとらえることになりましたが、おそらく研修を受けられた皆様にもインパクトがあったものと思われま

す。お昼からは第2ゾーン・ロータリーコーディネーターでRI第2590地区の金杉誠パストガバナーに「戦略計画とクラブの活性化について」と題したご講演をいただきました。その後、6つの分科会に分かれそれぞれのグループで活発な議論が戦わされました。初めて会うほかのロータリークラブの現状等をお聞きし、新たな発想が生まれたことと思われま



す。その討議の内容を各地区ガバナー補佐の方たちの代表者が各10分程度発表しセミナーを終了いたしました。その後は懇親会となり和気あいあいの内に国立金助ガバナーノミニ



の閉会のご挨拶のあと、「手に手つないで」を合唱しお開きとなりました。

翌日は昨日のメンバーに加え各クラブの財団担当者と米山担当者が加わり「ロータリー財団セミナー」と「米山セミナー」が開催されました。財団セミナーでは今後各クラブの事業が円滑に実施されるために必要な資金の援助を財団がしていることを周知し、是非、財団の資金を有効利用して活発な事業展開をするよう要請があったことと、財団に対する寄付を積極的にお願ひしたい旨の話がありました。

「米山セミナー」では韓国の留学生OGと内モンゴルの留学生が流ちょうな日本語で経験談をお話しし、大石次期米山記念奨学・学友委員長からは「RIに認知された米山奨学会は我が国として世界に誇れる事業を展開していますから、皆様のクラブからも大勢の候補者をご推薦いただきたい」旨のお話が有り13時に閉会となりました。

2日間にわたりましてセミナーにご参加いただきました会長エレクト・財団・米山担当者の皆様、そしてご指導をいただきましたパストガバナーの皆様、ガバナー補佐の皆様、誠にありがとうございました。

ロータリーコーディネーターニュース

2016年4月号

第3ゾーン・ロータリーコーディネーター補佐

横山 守雄 (大阪中央RC)

RIシニアリーダーや各地区のガバナーが毎年度、本年度は「会員純増」目標として、各クラブ1名とか2名、或は3%とか5%といった数値目標を掲げて参りました。しかしながら、達成が簡単と思われるようなこのような数値目標が、過去10年スパンの日本の会員数動向を見ますと、実際には達成が難しく、長期的にはマイナストレンドが続いています。

ロータリーのトップリーダーとしては、その立場上、会員増強の毎年度の数値目標を掲げないわけにはいかないことは理解できますが、その純増に必要な数名をなぜ達成出来なかったのか、その分析と今後達成可能な方法論を示せなかったことが、結果的に継続的な純減を招いたとも言えます。

会員増強がトップリーダーの掛け声だけで達成できたのは過去の産物かもしれません。日本では少子高齢化社会が早いスピードで進行してゆきます。働き手の65歳以下の職業人は10数年後には3人に1人となります。その様な変化が激しい現代社会では、特に若年層の生活感が多様化しています。ジョン・ジャームRI次年度会長は、会員51名以上のクラブにおいては40歳以下の会員を4名以上、50名以下のクラブでは2名以上入会出来るようにしてくださいと提唱されていますが、果たしてクラブ運営費が高い日本の都市型クラブへ入会可能な若年層の会員候補者が何名あるかです。各クラブの現状では高いハードルと思われるます。

会員基盤を強化するには、各クラブが従来クラブ運営方法やコストなどの基礎的な条件を見直し、若年層の人々が入会出来るように「クラブの体質」そのものを徐々にでも変えて行かなければクラブ会員の高齢化が進む一方で、会員の若返り、世代交代が停滞します。

各クラブの「インフラ整備」なくして会員増強はあり得ない時代になっているのではないのでしょうか。しかしながらロータリークラブの運営管理システムは「単年度制」ですから、クラブの「インフラ整備」には少なくとも3-5年間のスパンで継続的に整備して行かなければ、成果が表れてきません。急がば回れです。

第2660地区においては、この様な考え方をベースに81の各クラブが「クラブ戦略計画委員会」を立上げ、各クラブ独自の中長期の戦略計画の立案と推進を図るべく取組んでおります。本年度中に既に78%のクラブが「クラブ戦略計画委員会」立上げておりますので、数年以内に全クラブによるBottom-upの力で会員基盤が強化される方向へ進むことを期待しております。

ロータリー、 来し方行く末

連載 第10回

日本のロータリアンの使命

国際ロータリー第2510地区

パストガバナー 塚原 房 樹
(札幌東RC)



アメリカにはフリーメーソンを筆頭に私的結社が数え切れないほど沢山あります。なぜアメリカには数多くのクラブが生まれたのでしょうか。アメリカは移民の国です。数多くの人種が集まったアメリカには、ヨーロッパとは違い、家柄はなく、異なる出自(生まれ、出身)の集まりで、ばらばらの個人主義者が集まった国です。そして社会的存在としての自分に居場所を与えるのが地域ごとの小集団である私的結社なのです。クラブに所属していることは、自分の身分を証明するためにも有効です。

ロータリーもライオンズも、そういう私的結社の代表的なものですが、ロータリーについて言えば、今日でもなおアメリカはクラブ数、会員数、何れにおいても突出した第一位のロータリー大国です。

従って、世界の200以上の国にロータリークラブは拡大しましたが、国際ロータリーのクラブ管理にはアメリカンスタンダードが色濃く表れています。

ロータリーは日本にとって外来思想です。ロータリーの背景にある思想は隣人愛・愛(アガペー)を説く中世キリスト教神学です。

ロータリーの綱領(目的)は万国共通の理念ですが、キリスト教と仏教では根底にある奉仕観に違いがあります。キリスト教も仏教も他の人々への愛を強調します。なぜ隣人を愛さなければならないのでしょうか。キリスト教は根源的なものとして神を立てます。その上でさらに、神は愛を以って人間を作られたので、自分と同じく神の愛によって作られた隣人たちを愛してゆかねばならないということを強調します。仏教はこれに対して「無我」こそが、存在の根本であると考えます。ところで無我といえれば一見、全く自己は存在しないというように虚無的に理解されがちです。

しかし決してそうではありません。無我を肯定的な言葉で言いかえれば「自他不二」「人類は皆平等」といえます。

人間の幸福を欲望の充足に求めるアメリカと、欲望からの解脱に求める東洋との大きな宗教意識の差がここにあります。現実の生活においては、たしかに西欧物質文明が一応理にかなっています。然しそれで人間が幸福になれるものではありません。殊に今や人類全体の存亡に関わる様な問題にまでなってしまった地球環境を考えれば究極的に何れの道を重しとするか、誰でも解ることだと思えます。

こうして思考の糸をたぐってゆくと、ロータリーの使命を日本人が職業倫理に求め、アメリカのRI本部が財団拡充に求めるという意識の違いが明瞭になります。やはりライオンズ的な道が西欧流思考にかなってい

る様で、そのためRIは結局ライオンズ化して行くのでしょう。

然しそれがどうあろうと、私達はロータリー本来の哲学を失ってはなりません。「決議23-34」の真骨頂を示す人生論を、今ここに述べた東西宗教文明の差にあてはめて書き直せば、「ロータリーとは、万人の幸福を求めるにあたって、欲望の充足と欲望からの解放という、相反する二つの道の間にかかる争いを和解させようとする人生哲学である」ということになるでしょう。

そしてこれを解く鍵が正に古典的職業奉仕論にあるのです。ロータリーが精神文化であり、倫理運動であり、人間育成の道場だとするならば、輝かしい古典的職業奉仕の理想に花咲かせることの出来る風土は、今や日本しかないと思われまふ。平和運動としても二十一世紀のロータリーはインド以東の多神教文明に学ぶ必要があります。RIでは、職業奉仕は死語となりましたが、日本のロータリーは東洋哲学の布教者としてロータリーに新生面を開きましょう。

日本のロータリアンが東洋的美意識をもって事のすべてに対処することです。それが日本の目標、「美しい国」を作る道にも通ずるのです。

～米山奨学生のご紹介～

一年間の成長

金 鑫 (札幌西北RC)



私はロータリーと出会ったのは2015年の春だった。当時は日本で就職することを決めたが、色々な費用を掛かり、大変困っていたところで、ロータリーの奨学金で助けてくれた。

実は就活を始めた時、自分が何をやりたいのが明確ではなかったので、とりあえず大手企業にするという考えがあった。最初も大手ばかりを見ていて、大手からの内定も頂いたが、私は最終的にある中小企業に就職することにした。

「なぜですか？」っとよく聞かれる。

ロータリーヒューマンと出会って、自分も影響されているのが原因の一つだろうと思う。私がお世話になっている札幌西北クラブは毎週の木曜日は例会である。内容は毎回違うが、「自分が他人のため、世界のため何ができる」の中心はずっと変わってない。

私もこれを軸として考えてみた。本当に「自分を見つけた」という感じが強かった。会社だろうか、これからの人生だろうか、看板で選ぶものではない。これからもロータリー精神を忘れず、自分のため、他人のため、できる人間になるように頑張りたいと思っている。

米山記念奨学生歓送会開催

地区米山記念奨学委員会

委員長 **渡 邊 葉 子** (札幌西北RC)

3月6日(日)奨学期間を2016年3月で終了する12名の奨学生歓送会を開催いたしました。ご来賓 塚原房樹ロータリー米山記念奨学会理事、武部實ガバナーエレクトよりご祝辞を頂戴いたしました。その後、奨学生には終了証の授与、お世話になりましたカウンセラーの皆様には武部實ガバナーエレクトより感謝状をお渡しいただきました。

その後記念撮影をいたしました。今年度は奨学生の人数が少なかったので椅子に主役の奨学生に座るよう言ったとたん、喜んでご来賓の隣に座っておりました。嵯峨義輝ガバナーはじめ地区役員皆様のご厚意で1泊研修・地区大会におけるお茶サービスと奨学生同士の交流の機会が多かったのもとても仲良く、奨学生終了後の学友としての活動もスムーズに行われるものと思います。

祝宴も和気あいあいと行われました。奨学生から頂いたスピーチは世話クラブでの楽しかった思い出、奨学金のおかげで勉学に邁進出来たこと、就職し札幌を離れるけれど学友としてこれからもロータリーとの関わりを続けたいなどロータリアンの皆様への感謝に満ち溢れたものでした。3月は学生にとって節目となる季節、それぞれの夢を叶える新たな一歩を踏み出していく事と思います。カウンセラーの皆様からは、クラブが明るくなった、ご自身にとっても良い体験が出来たなど、温かい言葉を頂戴いたしました。大変お世話になりまして、有難うございます。



この奨学事業は、奨学金を与えるだけではなく世話クラブ・カウンセラー制度によりロータリーとの関わりを強く持ち、ロータリーの目指す世界平和を実現する一役を担っております。カウンセラーの皆様には、人と人との繋がり大切さを奨学生に教えていただきました。奨学生との交流は奨学金が終了し学友となった、これからは正念場なのかもしれません。長く交流を続けることでロータリーの真価を理解してもらえるのではないかと思います。大学に残っている学友・地元就職した学友をたまに例会に誘っていただきましたら喜んで来ると存じます。これからもお付き合いのほど、よろしくお願いいたします。

最後となりましたが、カウンセラーはじめ世話クラブの皆様、ご寄付いただきました会員各位に厚く御礼申し上げます。4月からの奨学生は、新規13名継続2名計15名となります。引き続きご支援・ご協力をお願い致します。





台日友情交換報告

地区幹事 **赤山登** (岩見沢RC)

昨年10月の地区大会開催の折、国際ロータリー第3490地区より邱ガバナーご夫妻、劉ご夫妻が来訪。羽部ガバナー時より開催している友情交換の継続を昨年11月具体的な打ち合わせの為、五十嵐代表幹事と岩見沢RC北澤会長が、台湾訪問の際、劉深根さんと面談。年明けに劉さんから、訪問スケジュールのメールが届き、これを基に北澤会長が滞在時の予定をプログラムしました。

2月14日(日)

14:05 新千歳着航空BR116 嵯峨ガバナー、五十嵐地区代表幹事、山本地区幹事、中路岩見沢RC副会長、赤山地区幹事一行がマイクロバスで出迎えに。しかし到着が大幅に遅れることが判明したためコーヒブレイクの為3階へ、国際線出発ラウンジで出国手続き勤務中のオーミンジンさん(嵯峨ガバナーがカウンセラーを務めた元米山奨学生)と挨拶を交わす。



17:00 劉深根さんを団長とする8名の皆様とやっと再会を果たし、札幌幌南RCが用意した横断幕を前に集合写真。台北空港が強風のため出発が大幅に遅れたとのことでした。こちらも強風で国内線が多数遅れていました。



札幌幌南RCの予約したジャスマックプラザに急ぐ。到着後ご一行は一風呂浴びて羽部パストガバナーが用意した歓迎夕食会に。二次会では日本語によるカラオケで大いに盛り上がり宿泊先の慧林寺へ。

2月15日(月)

慧林寺檀家婦人部心づくしの朝食を振舞われ、8:00バスに、道庁赤レンガ、白い恋人パークに立ち寄り、昼食後小樽祝津水族館に。時折襲う北海道特有のブリザードの中、ペンギンのお散歩に心なごませ、イルカの豪快なダイビングやショータイムに眼を見張る。その後、懇親会場の貴賓館(旧青山別邸)へ。

熊澤パストガバナー、斎田ガバナー補佐はじめ小樽RC、小樽南RC、小樽銭函RC皆さん心づくしのおもてなしと豪華美味な料理に舌鼓を打つ。宿泊は旧岡川薬局という名の民宿へ。



2月16日(火)

朝食後、小樽市内観光、北一ガラスでガラス細工体験、グランドパーク小樽で小樽RCの例会に出席し一路札幌へ。途中チョコレートファクトリー、北海道開拓の村に立ち寄ったのち岩見沢に到着、ホテルサンプラザにチェックイン。歓迎夕食会はレストランコロナで開催、嵯峨ガバナーご夫妻、通訳に嵯峨洋子さん(ご子息令夫人)、五十嵐代表幹事、北澤会長、大屋地区大会実行委員長、上野幹事、西方地区幹事が出席、2次会はドミノ。岩見沢での第一夜をお楽しみいただきました。

2月17日(水)

朝食後、三井グリーンランドスキー場へ、皆さんレンタルのスキーウェアに着替え、スノーモービルの後部に乗車、スキー場の裾野を一周し風を切る爽快感に寒さも気にならぬご様子で皆さんご満悦。その後緩やかな傾斜地を橇やタイヤを使って子供のようにはしゃぎ何度も滑り降りを楽しんでいました。

昼食は、「IWAMIZAWAドカ雪まつり」準備中の会場へ移動、仮設ハウスの中で松尾ジンギスカンの大鍋を囲み、美味しい、美味しいを連発されていました。食後、初の雪像づくりに挑戦、これはロータリーバッジと台湾と日本の国旗を、力を合わせ製作しました。なかなか見事な作品が完成。

その後一旦ホテルへ戻り、着替えてフェアウェルパーティにご出席。

嵯峨ガバナーご夫妻、他、第3グループ郷ガバナー補佐、佐々木ガバナー補佐幹事、栗沢、岩見沢東、岩見沢、3クラブ会長・幹事、岩見沢会員、地区幹事、そして通訳に米山奨学生のソリガさんが民族衣装で参加してくれました。

日本古来の正月行事の餅つき、ついた餅は汁粉にしてふるまわれました。次にカップルで配偶者の顔を創る福笑いを体験して頂き大うけとなりました。団長がお酌に廻ったテーブルでは乾杯!乾杯!の連呼でパーティは大変盛り上がりカメラを向けるたび、今台湾で流行っているという「讚、讚、讚、」の掛け声の下、ガッツポーズを。



2月18日(木)

朝食後、8:30チェックアウト。本日のプログラム、西方建設除排雪体験にバスでグリーンランド駐車場へ、轟音を上げて固くしまった雪を巻き上げるロータリー車でダンプカーに雪を積み込む体験、雪を積んだダンプカーに乗り込み移動搬送排雪体験、除雪ブルドーザー乗車での除雪体験、嵯峨ガバナーとご子息夫人の洋子さんも体験されました。

日本料理店を経営する陳寶雲さんに至っては除雪ブルを自分で運転し駐車場内に集まった雪を除けようと操縦を楽しまれていました。珍しい体験後、帰路は寸暇を惜しんでショッピングを楽しまれ、岩見沢RCの例会にご出席して昼食をご一緒。

劉団長のご挨拶の後、ご一行はJR岩見沢駅へ、札幌で函館行き列車に乗り換えの為、接続時間が15分間とタイトである事から、現場アシストに山本地区幹事、齊藤地区幹事、青木地区財務委員、岩見沢RCの藤田会員、渡辺会員、そして札幌駅で偶然出合った海老原会員がポーターとしてスーツケースを携え誘導、山本地区幹事の猛ダッシュと機転で自由席8席2ブロックを確保し、ぎりぎり乗車で見送りました。台湾と日本を結ぶ友情交換は皆さんのご協力で感激感動のうち無事終了しました事ご報告申し上げます。後日劉団長から感謝のメールが届きました。



全国ローターアクト研修会並びに アジア太平洋地域ローターアクト会議報告

地区ローターアクト委員会

委員長 石山 嘉治 (森RC)

3月18日～3月21日の日程で第28回全国ローターアクト研修会並びに第13回アジア太平洋地域ローターアクト会議が京都市京都国際会館で開催され第2510地区からローターアクト12名と共に参加致しました。

ローターアクト国際会議が日本で初めて開催されることは国外のアクターと接する機会に恵まれることから昨年度より多いアクターが参加致しました。

19日開会式では千 玄室RI第2650地区PG、特別顧問が流暢な英語による挨拶で国内外1400名を超えるアクター、ロータリアンに今回の機会に全国また太平洋地域の多くのローターアクトから刺激を受け成長されることを期待する主旨の挨拶がありました。基調講演では「日本の笑いを世界へ」と題し古典落語を英訳し英語による公演を15カ国300回成功させている「桂かい枝」による落語。海外のアクターの笑い声が会場を包み和やかな雰囲気醸し出しておりました。世界標準語である英語の習得はアクターを始めロータリアンに必要であることを実感致しました。

午後、全国代表者会議ではロバート議事法による議事進行により議案6件が審議され、次年度全国ローターアクト研修会がグアムで開催される事が決定致しました。アクターの熱い議論を拝聴し活発な発言はロータリアンが学ぶべき多くのものがあると実感致しました。

午後3時30分から地区ローターアクト委員長会議が行われ岡村泰岳RI第2720地区PGによる講演ではローターアクトはロータリーの生き様を見ている、ロータリーが活発な奉仕活動しなければアクターはついてこない、アクターにローターアクトクラブを提唱していないクラブを訪問するように呼び掛けるなど新たな

ローターアクトクラブを結成するためのヒントを頂きました。また昨年度の全国研修会で同席した三木RI第2680地区PGとテーブルディスカッションでお話できたことも収穫でした。

午後7時からのカルチャーナイトでは国内外のアクターのパ



パフォーマンス披露等で会場が大いに盛り上がりました。

20日は観光ツアー、自然・芸術・アニメ・お酒コースに分かれ京都、奈良、滋賀県の観光地を目指し、それぞれバスに分乗し国際会館を出発、海外のアクターは事前登録したコース以外の観光を希望し第2510地区では英語や中国語に堪能な函館大学RAC吉田直輝君、札幌幌南RAC蔡^{さい}爽^{そう}さんが、語学力を發揮してくれツアーガイドを補助してくれました。改めて英語力を磨かなければと再認識致しました。

各々ツアー終了後京都駅に到着しローターアクト懇親会が居酒屋ビルで行われ国内外のアクターと酒を酌み交わし大いに盛り上がりました。

21日最終日午前9時から全国研修会報告会に引き続き、次年度33地区代表エレクト決意表明で第2510地区三浦幸恵さんが登壇、元気いっばいに決意表明してくれました。

閉会式ではソウル国際大会ローターアクト大会前会議、インターローター世界大会PRに続き、北河原ホスト地区青少年担当諮問委員PGによるロータリアン講評、丸山 APRRC 2016実行委員長閉会宣言・点鐘で4日間にわたる大会が終了致しました。

従前のローターアクト研修会は2日間でしたが今回はアジア太平洋地域ローターアクト会議と同時開催の為登録料が高額となり多くのアクターに国内外アクターとの交流が図れる機会でありましたが地区委員会として周知が出来ず指導力不足を実感致しました。

来年度は全国研修会がグアムに決まりましたので今回参加したアクターが各クラブに帰って報告会を開いてもらい、より多くのアクターと地区ローターアクト委員会メンバーにも参加していただくよう働きかけたいと思います。



総括として今回の研修会はローターアクトの目標である地域社会と世界各地の知識を深めること「顔を合わせ、手を取り合い、話し合い、心と心が通じ合う」理念を实践した素晴らしい機会であったと実感致しました。

参加したアクターの皆さんお疲れ様でした。

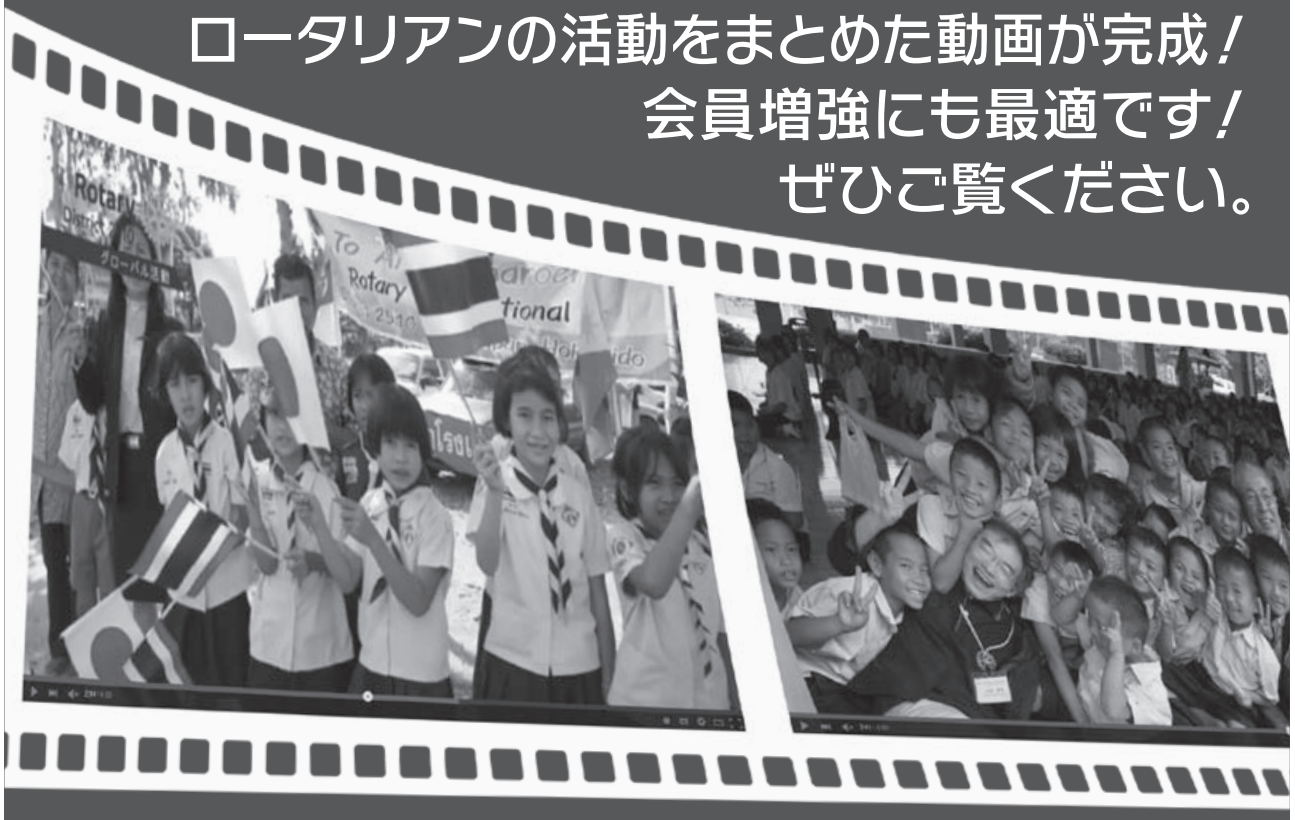
広報委員会よりお知らせ



国際ロータリー第2510地区 動画チャンネル公開中です。

第2弾「ロータリー広報編」完成！

ロータリアンの活動をまとめた動画が完成！
会員増強にも最適です！
ぜひご覧ください。



【ホームページアドレス】 rid2510.org

または で



RD2510 広報委員会制作
動画チャンネル公開中！
【ガバナーメッセージ編】
【ロータリー広報編】

ホームページ右列にある
バナーからご覧ください。



スマートフォンからはコチラ



ポリオプラス 委員会より

野生型ポリオは昨年より確実に減ってきています。しかし今撲滅の手を休めると又増えてくる事になります。今期の募金目標額は会員1人30ドルとなっておりますが、金額は基よりお願いしたい事は地域の皆様へポリオ撲滅の意義と募金を行うキャンペーン活動です。是非昨年同様各クラブの皆様には地域に対するポリオ撲滅のキャンペーンを計画をお願い申し上げます。

END
POLIO
NOW

野生型ポリオ症例数

2016年3月9日現在

	国	2016年 今年に入って	2015年 同時期	2015年 年間合計	麻痺が発生した 最後の年月日
常在国	パキスタン	5	16	54	2016年2月12日
	アフガニスタン	1	1	20	2016年2月1日
世界合計		6	17	74	

【世界はポリオウイルス撲滅まで後少しです。】

「ポリオウイルスとの闘い」

野生株ポリオウイルスは3つの抗原性の異なる型がありますが、現在は1型だけになりました。ウイルスは、ヒトが宿主です。殆どの人は不顕性感染で、そのまま終生免疫が確保されます。1人のポリオ麻痺発生者の周りに1000人の不顕性感染者がいると見られていますが、不顕性感染者からのウイルス伝播は、ワクチン接種により、抗体が作られ発症を免れています。

私たちは、ポリオ発症ゼロをを目指し、アメリカ地域&西太平洋地域&ヨーロッパ地域&南東アジア地域&アフリカ地域とポリオ発症ゼロを勝ち取ってきました。残るは、東地中海地域のパキスタンとアフガニスタンだけです。

ポリオとの闘いは、又平和との闘いでもあります。本年度について、当地区はロータリー平和センターへ1万ドル、ポリオプラス基金に2万ドルを合計3万ドルをDDFから寄付いたします。

《北海道のポリオ被害について》

1960年日本では、ポリオが5600人を超える麻痺患者が発生し未曾有の大流行となりました。北海道中央部では5月末から流行の兆をみせて7月7日には、患者の数は前年の7倍の182人に達した。ワクチンも無い為以後の予防には殆ど決定的な決め手もなく、鉄の肺も北海道全体でたった一台あるのみであった。

患者の発生は七月下旬で140人、さらに最盛期の八月初旬から九月初旬の間には613人が発病し、1日の平均発病は17人というすさまじさ。流行は秋になってもやまず、9月を過ぎても60人が発病した。ようやく冬の早い北海道の山野に雪化粧をみる11月中旬、総計1609人の患者と106人の死亡者の記録を残して小児マヒの影は消えました。



昭和35年にポリオが大流行したと言われる大夕張炭住街風景

文庫通信



(342号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

職業奉仕を学ぶ

[下記申込先：ロータリー文庫]

- 「会社は誰のものか」 深川純一 2015 16p (職業奉仕を学ぶ)
- 「企業の社会的責任(CSR)について」 安平和彦 2015 10p (職業奉仕を学ぶ)
- 「職業奉仕月間に思うロータリーのこころ」 中谷研一 2016 3p (D.2550月信)
- 「職業奉仕月間について思う事」 梅津敏光 2016 1p (D.2800月信)
- 「職業奉仕活動の実例」 保延輝文 2016 2p (D.2820月信)
- 「職業奉仕月間に因んで 新入会に向けて」 福田武男 2015 4p (D.2510月信)
- 「職業奉仕について」 岩田勝美 2016 1p (D.2630月信)
- 「『四つのテスト』は職業奉仕の哲学」 坂本俊雄 2015 3p (ロータリーへの私の想い)

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝祭日

第11グループ各クラブ紹介

第11グループは、創立順に函館東ロータリークラブ、江差ロータリークラブ、函館北ロータリークラブ、松前ロータリークラブ、函館五稜郭ロータリークラブ、北斗ロータリークラブの6クラブを紹介します。

函館東ロータリークラブ

昭和32年函館ロータリークラブがスポンサーとなり函館市内2番目のクラブとして創立しました。グループ内では二人目の女性会長と幹事でクラブテーマは、「一步前へ、未来のために」です。クラブが提唱する函館大学RACは今年で45周年を迎え地区内RACでは最も歴史のあるクラブです。社会奉仕継続事業で軟式野球場の周辺環境整備の緑化対策に取り組み、国際奉仕で今年度はタイ国の障がい者へ車椅子を贈呈し、さらにスラム街児童へ図書費を寄贈しました。会員構成は男性42名、女性5名でグループ内では最も女性会員の多いクラブです。

江差ロータリークラブ

昭和37年函館ロータリークラブがスポンサーとなり創立しました。33名の会員を以て設立しましたが、人口減少による過疎化の影響で現在は12名(内女性1名)会員数ですが、スモール・エクセレントクラブを目指しています。幹事役の女性会員は例会に欠席がちな会員に向けてmail作戦で出席の呼びかけを行います。クラブ独自のプログラムとして、優良従業員及び優秀技能者を称えた表彰と、永年職人の匠の技を持つ個人事業者表彰制度を持ち歴史のまちに融合したクラブです。クラブバナーは幕末の軍艦、開陽丸と全国的に有名な江差迫分の尺八と節回しをモチーフにしています。

函館北ロータリークラブ

昭和39年函館東ロータリークラブがスポンサーで30名の会員を以て創立し、最盛期には76名の会員を有した時期もありましたが大手企業の縮小とともに会員の減少が始まり、現在は22名の会員数になりました。小人数のクラブですが社会奉仕はクラブの歴史を受け継ぐ事業として、洞爺丸海難慰霊碑公園清掃と慰霊、函館ハーフマラソンの給水所設置と支援。クラブ奨学

資金による高校生を対象にした奨学金援助。市内東部地区少年野球新人戦「北ロータリークラブ杯」支援を実施しています。

松前ロータリークラブ

昭和37年函館ロータリークラブがスポンサーとなり創立しました。設立当初は24名の会員数が5年後30名に増強され地域に密着したクラブとして活発な奉仕事業を積極的に実施していましたが、人口減少と過疎化により現在は4名の会員で活動しています。

函館五稜郭ロータリークラブ

昭和45年函館東ロータリークラブがスポンサーとなり創立されました。クラブ区域は星形のお堀、五稜郭と幕末の志士土方歳三、榎本武揚などで有名な土地柄で五稜郭祭、公園内で演じられる函館野外劇のサポートを毎年実施しています。会員構成はベテラン会員から若年会員まで幅広く、常に新しい奉仕事業の企画に挑戦しています。継続事業としてベトナムのホーチミン市に有る仏教系孤児院へ制服と学用品の寄贈と、今年度は浄水器設置補助に参加しています。地域奉仕ではDr.ヘリ運行機関へ フライトスーツを寄贈。クラブ会員有志で結成しているバンドによるポリオ撲滅チャリティーコンサートを毎年実施しています。

北斗ロータリークラブ

平成8年函館五稜郭ロータリークラブがスポンサーに23名の会員を以て創立、初期のクラブ名は、上磯ロータリークラブでしたが、平成18年に上磯町と大野町が合併して北斗市が誕生、クラブ名は北斗ロータリークラブに改称しました。奉仕活動は地域に密着した事業が多く、特に小学生、中学生、高校生を対象に協働奉仕しています。小学生を対象にしたキッズアドベンチャーキャンプは自衛隊や教育委員会と共青少年育成事業を行い、救急救命の模擬訓練なども実施し地域の人々に貢献しています。加えて現在、米山小学生呂 振君を御世話しています。会員数13名のクラブですが常に前向きに地域に貢献する事を念頭に活動しています。

手違いにより第11グループの紹介が4月号となってしまいました。ご迷惑をお掛けした事をお詫び申し上げます。地区幹事 武蔵 輝彦

新会員の紹介

(敬称略)



新札幌 RC
後藤 勝彦
2月24日入会
不動産管理



江別 RC
田村 修一
3月3日入会
ガス事業



岩見沢 RC
峯 泰教
3月3日入会
損害保険代理店



室蘭北 RC
上口喜代志
3月8日入会
土木工事業



えりも RC
川崎 茂
4月1日入会
社会福祉協議会

訃報

慎んでお悔やみ申し上げますとともに心からご冥福をお祈り申し上げます。



江島 俊昭 会員
(岩見沢 RC)
2016年2月24日ご逝去(享年90歳)
第41代会長 江島俊昭会員は、
平成28年2月24日ご逝去されました。

【ロータリー歴】
1981年(昭和56年)5月 入会
1992~1993年度 副会長
1993~1994年度 会長エレクト
1994~1995年度 第41代 会長
【表彰】
15年 100% 出席
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(1回)
米山功労者マルチプル(3回)

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

札幌RC 中山 茂 会員(1回) 2月26日 : 登別RC 遠藤 秀雄 会員(7回) 2月12日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

札幌西北RC 渡邊 葉子 会員(2回) 2月29日 : 長万部RC 赤塚 章 会員(3回) 2月9日
 恵庭RC 村本 満男 会員(1回) 2月5日 : 苫小牧RC 渡辺 健治 会員(1回) 2月9日
 登別RC 高岸 満則 会員(1回) 2月12日 :

地区カレンダー (4月・5月)

4月 母子の健康月間	
1(金)	
2(土)	第7グループIM(千歳)
3(日)	
4(月)	～5(火) 会員基盤向上セミナー(東京)
5(火)	
6(水)	
7(木)	
8(金)	
9(土)	第2グループIM(滝川)
10(日)	2016-17年度地区研修・協議会(札幌)
11(月)	～15(金)2016年規定審議会(米国・シカゴ)
12(火)	
13(水)	
14(木)	
15(金)	
16(土)	
17(日)	第8グループIM(えりも)
18(月)	
19(火)	
20(水)	
21(木)	
22(金)	
23(土)	
24(日)	
25(月)	
26(火)	
27(水)	
28(木)	
29(金)	昭和の日
30(土)	

5月 青少年奉仕月間	
1(日)	
2(月)	
3(火)	憲法記念日
4(水)	みどりの日
5(木)	こどもの日
6(金)	
7(土)	
8(日)	
9(月)	
10(火)	
11(水)	
12(木)	
13(金)	
14(土)	第12グループIM(苫小牧)
15(日)	地区RYLAセミナー(岩見沢)
16(月)	
17(火)	
18(水)	
19(木)	
20(金)	
21(土)	
22(日)	第1グループIM(留萌)
23(月)	札幌北RC創立45周年記念式典(札幌)
24(火)	
25(水)	
26(木)	
27(金)	
28(土)	
29(日)	～6/1(水)国際大会(韓国・ソウル)
30(月)	大韓民国第3700地区大会(韓国・ソウル)
31(火)	

2016年4月のロータリーレート 1ドル 116円

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			2015.7.1	2016.2.29	増 減	内女性	
1	深 川	4	34	36	2	3	86.49
	羽 幌	3	43	46	3	2	75.36
	妹背牛	4	11	11	0	0	86.36
	留 萌	4	38	42	4	3	76.73
	小 計		126	135	9	8	81.24
2	赤 平	4	26	25	-1	0	77.60
	芦 別	3	37	35	-2	2	86.45
	砂 川	4	37	39	2	0	92.95
	滝 川	3	78	87	9	4	78.00
	小 計		178	186	8	6	83.75
3	美 唄	3	32	31	-1	0	90.31
	江 別	3	31	35	4	1	77.90
	江別西	4	26	24	-2	3	86.50
	岩見沢	3	73	76	3	0	92.94
	岩見沢東	4	22	23	1	3	69.80
	栗 沢	4	22	22	0	1	92.70
	栗 山	4	22	27	5	5	94.34
	当 別	3	27	28	1	0	89.29
	小 計		255	266	11	13	86.72
4	札 幌	4	117	127	10	2	97.97
	札幌はまなす	4	16	18	2	3	90.28
	札 幌 北	4	34	38	4	3	89.19
	札幌モーニング	3	39	39	0	0	68.33
	札 幌 西	4	51	51	0	8	80.00
	札幌西北	3	32	32	0	3	85.80
	札幌手稲	4	37	38	1	4	89.90
	小 計		326	343	17	23	85.92
5	札 幌 東	3	122	126	4	0	96.29
	札幌清田	3	16	15	-1	4	100.00
	札幌幌南	4	70	70	0	13	100.00
	札幌真駒内	4	24	23	-1	5	100.00
	札 幌 南	5	79	81	2	0	99.50
	札幌大通公園	3	13	13	0	1	61.54
	新 札 幌	4	24	24	0	3	88.49
小 計		348	352	4	26	92.26	
6	岩 内	3	19	21	2	1	75.96
	倶知安	4	39	40	1	5	73.80
	小 樽	4	74	76	2	2	79.31
	小樽南	4	73	72	-1	3	89.80
	小樽銭函	3	19	19	0	1	75.00
	蘭 越	5	10	10	0	0	100.00
	余 市	4	48	48	0	5	82.60
	小 計		282	286	4	17	82.35

2月出席率・ 会員増減数	クラブ数	70クラブ
	期首会員数	2,526人
	当月末会員数(女性)	2,616人(139人)
	増加会員数	90人
	当月平均出席率	82.82%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			2015.7.1	2016.2.29	増 減	内女性	
7	千 歳	3	54	58	4	3	95.17
	千歳セントラル	4	38	38	0	4	76.97
	恵 庭	4	46	48	2	2	83.92
	北 広 島	4	17	19	2	1	84.21
	長 沼	4	19	18	-1	3	65.00
	由 仁	3	8	9	1	0	59.26
小 計		182	190	8	13	77.42	
8	えりも	3	18	19	1	1	100.00
	三 石	5	13	13	0	1	79.02
	様 似	3	21	21	0	1	70.83
	静 内	4	64	68	4	1	90.35
	浦 河	4	22	23	1	0	88.17
	小 計		138	144	6	4	85.67
	9	伊 達	4	55	57	2	0
室 蘭		3	30	37	7	1	67.53
室蘭東		5	34	35	1	0	92.00
室蘭北		4	40	41	1	3	70.12
登 別		4	32	32	0	1	84.38
洞 爺 湖		4	9	9	0	0	100.00
小 計		200	211	11	5	83.60	
10	函 館	3	82	86	4	1	76.73
	函館亀田	5	41	42	1	4	84.96
	森	4	33	36	3	0	83.00
	七 飯	4	17	17	0	0	71.00
	長 万 部	3	8	8	0	0	62.50
	函館セントラル	4	22	22	0	2	74.73
	小 計		203	211	8	7	75.49
11	江 差	4	12	12	0	1	60.00
	函館五稜郭	4	51	50	-1	0	80.12
	函 館 東	4	47	47	0	5	67.98
	函 館 北	4	21	22	1	0	89.34
	北 斗	3	13	13	0	0	58.90
	松 前	2	4	4	0	0	75.00
	小 計		148	148	0	6	71.89
12	白 老	4	33	33	0	2	80.50
	苫小牧	4	51	54	3	2	80.45
	苫小牧東	3	27	27	0	5	86.42
	苫小牧北	4	29	30	1	2	93.62
	小 計		140	144	4	11	85.25
合 計		2,526	2,616	90	139	82.82	

※札幌幌南RCには札幌幌南ライラックロータリー衛星クラブの会員数13名(内女性会員8名)を含む

第4グループ各クラブ紹介

第4グループは、札幌、札幌はまなす、札幌北、札幌モーニング、札幌西、札幌西北、札幌手稲の7クラブで構成されている。それぞれ特徴ある活動が展開されている。

札幌ロータリークラブ

1932年、東京RCをスポンサークラブに日本で8番目のクラブとして誕生し、「輝かしい伝統と歴史を誇る札幌ロータリークラブ」との評価を頂き、83年の歴史を刻んでいる。今年度の基本方針として、「1) 国際的な奉仕活動を積極的に支援 2) 地区との連携強化 3) 充実した例会運営と会員相互の連携、交流推進 4) クラブ全体としての会員増強」を掲げている。クラブの例会は、すばらしい方との出会いと交流の場と考え、親睦をさらに充実していき、先人から受け継いだ奉仕の活動を堅実にやっている。

札幌はまなすロータリークラブ

創立24年目の今年度、会員増強を主たる基本方針として、活発な活動を続けている。はまなす杯少年野球大会開催、国際奉仕事業では、地区事業のクリーンウオーター事業の参画など、少人数のクラブならではの特性を生かし、地域性を重視した活動が高く評価される。

札幌北ロータリークラブ

今年度は創立45周年の節目の年を迎え、精力的な活動を展開している。これまでにガバナー3名を輩出し、地区には8名が出向し精力的に活動するなど、地区との連携に貢献している。今年度のクラブ運営の基本方針及び活動目標として、「スローガン 1) 例会を楽しく 2) 和を大切に 3) 達成感、目標 1) 例会プログラムを魅力あるテーマに成るよう検討し、出席率も高めよう 2) 和の心を尊び、真の会員相互の親睦を図る 3) クラブ内活動及び奉仕活動を実践して達成感を目指す 4) 明るい雰囲気の中で、活気ある新会員を育て、激励しよう」を掲げている。

札幌モーニングロータリークラブ

例会が日本一早い午前7時30分から、朝日を浴びながらラジオ体操から始まることで知られている。国内でモーニングロータリーのクラブ名を持つ旭川、青森、川口、京都との5クラブで姉妹提携を結び交流を深めている。創立28年目を迎える今年度の基本テーマを「和」として、活動目標として「1) 会員増強 2) カミネッコン植樹とその今後 3) ポリオ撲滅 4) インターアクトへの協力 5) 会報委員会・事務局の負担軽減のためのお願委員会構成会」を掲げている。

札幌西ロータリークラブ

クラブの特徴としては、国際奉仕活動の実績が多くあり、また音楽委員会は全国的な活動をしている。クラブの重点目標のひとつとして、一昨年からは始めている「ピンクリボン活動(乳がん検診促進活動)」の支援を奉仕活動の柱に掲げている。今年度は創立55周年の節目にあたり、その記念事業として「ピンクリボンイン札幌」のキャンペーンが行われ、会員が得意の合唱を披露し、キャンペーンを盛り上げた。

札幌西北ロータリークラブ

創立40周年に向けて、「明るく楽しく、出席しやすいクラブ」をモットーに会員の親睦を深め、また奉仕の精神に満ちたクラブ運営を行っている。最近では、「三角山」清掃登山、大通公園の花壇設置など地域環境に目を向けた取り組みを進めている。今年度の活動目標として「1) 会員純増3名を目指しましょう 2) 先輩会員からロータリーについて教えて頂き、ロータリーを学びなおしましょう 3) 明るく楽しい例会を目指しましょう 4) 米山奨学事業・ロータリー財団・ポリオプラスへの協力を継続しましょう」を掲げている。

札幌手稲ロータリークラブ

昨年、創立45周年を迎えた。今年度は50周年へのスタートの年ととらえ、クラブテーマを「時は今!! 躍動しよう ロータリー」としている。今年度は、会員50名を合言葉に会員増強に邁進している。クラブ45年の歴史の中で先輩諸氏が築き上げてきた「和の心・奉仕の精神」を大切にしながら、自由闊達な雰囲気はクラブの大きな魅力となっている。

表紙の解説

■ 北海道大学初代総長佐藤昌介の胸像

札幌駅から北へ数分歩いたところに、北海道大学の正門があり、大学本部の玄関横に「初代総長佐藤昌介先生」という銘板をつけた胸像が置かれている。クラーク博士が北大の生みの親とすると、佐藤昌介は、北大の育ての親として大きな貢献をしたことはよく知られている。

また、佐藤昌介は札幌ロータリークラブの初代会長として、北海道におけるロータリー活動の礎を築いたことは、ロータリアンの周知の事実である。札幌ロータリークラブは1932年(昭和7年)12月3日に創立総会を「豊平館」にて挙行し、東京、大阪、名古屋、神戸、京都、横浜、広島、に次いで日本で8番目、北海道で最初のクラブとして誕生した。推されて、佐藤昌介が初代会長に就任した。更に佐藤昌介は、当時東京や大阪からガバナーを選出する前例を破って、1936~1937年の国際ロータリー第70区にガバナーに札幌より初めて就任した。

